



九州を繋ぎ、  
リードするまち



鳥栖市総合計画▶

鳥栖は、九州陸路交通のクロスポイントという地理的優位性を背景に、優れた技術・産業が集積するまちです。今後もこれらの魅力を磨き、有効に活かす取り組みを展開することで、九州における存在感を発揮し、九州をつなぎ、リードするまちづくりを進めます。

## 産業の活性化

- 企業の受け皿を確保するため、佐賀県と連携し、新たな産業団地の開発に取り組んでいます
- IT人材の安定確保と相互成長を目的に、高等学校などとIT人材確保に関する連携協定を締結しています

## 研究拠点

- 学術の振興や地域社会への貢献を目的に、国立研究開発法人産業技術総合研究所九州センター、佐賀県立九州シンクロtron光研究センター、九州国際重粒子線がん治療センターとの4者連携協定を締結しています

## 広域連携

- 県境を越えた地域の発展を目指すため、『筑後川流域クロスロード協議会』で福岡県久留米市・小郡市、佐賀県基山町と、『グランドクロス広域連携協議会』で同2市1町および福岡市と連携しています



- |   |   |
|---|---|
| ① | ② |
| ③ | ④ |
- ①鳥栖市内のIT関連進出企業が、高校生へ特別授業を実施。IT人材の確保につながっています ②産業や社会に役立つ技術の創出を目指す『国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)』の九州唯一の拠点。スマート製造センシング技術に関する最先端の研究が行われています ③シンクロtron光を利用する九州唯一の産学官の研究開発拠点『佐賀県立九州シンクロtron光研究センター(愛称:SAGA-LS)』。地域産業の高度化、新産業の創出を目指しています ④九州唯一の重粒子線によるがん治療施設『九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマツ)』。手術をせずにがん治療ができる、患者に負担の少ないやさしい治療法で、診療向上のための研究も行われています